LAMP®

アーキテリアシャッター 水平格納タイプ 取扱説明書

警告 この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、大切に保管し、わからないときは再読してください。

※建設会社・施主の皆様へのお願い
この「取扱説明書」を実際にご使用される方にお渡しください。

ごあいさつ

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
製品をご使用になられる前に「使用上のご注意」からお読みいただき
「操作方法」「日常点検」などについて、十分ご理解のうえご使用ください。
また、「取扱説明書」に記載されている事項には、守らないと人身事故に
つながるおそれがあるものもありますので、よくお読みになり、正しく
ご使用ください。

本製品を長年にわたって安心してご利用いただくためには、定期的な点検や
部品交換・調整等が必要となりますので、定期点検契約を必ず結んでください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様に特に注意していただきたい事項には、下記のような
マークと見出しをつけております。
この取扱説明書の中で、これらのマークと見出しに出会ったら、記載内容に十分
注意してお読みください。

⚠ 危険	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う危険が切迫していることを示しています。
⚠ 警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性のあることを示しています。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害の可能性のあることを示しています。

この記号は、行ってはいけない禁止事項を示しています。

この記号は、必ず行っていただく指示事項を示しています。

INDEX

使用上のご注意
基本的な注意 …… 4

1. 製品の概要
各部の名称 …… 6

2. 操作方法
通常時の操作 …… 7
停電時の操作（手動） …… 8

3. 関連機器
無線送信機（リモコン）の電池交換について …… 9
無線送信機（リモコン）の追加登録について …… 9
エリアセンサー、光電センサー …… 10

4. 点検
定期点検 …… 11
日常点検 …… 11

5. お手入れ方法と異常時の処置
お手入れ（清掃）について …… 12
異常時の処置 …… 12

製品保証について …… 13
メンテサービスセンター一覧表 …… 13

使用上のご注意

基本的な注意

⚠ 危険 取扱いを誤った場合に、死亡または、重傷を負う危険が切迫していることを示しています。

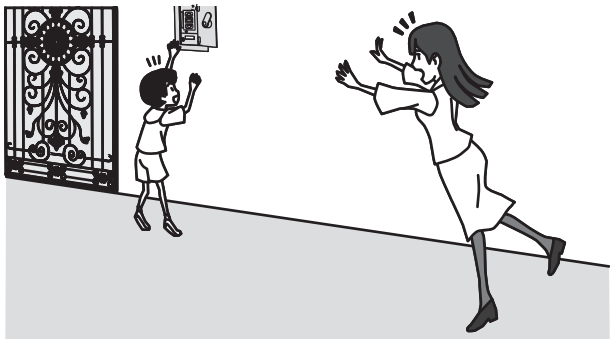
●シャッターを開閉するときは、シャッターの近くに「人がいないこと」を確認してください。

パネルに足を掛けたり、ぶら下がらないでください。

シャッターには、はしごや物を立て掛けないでください。シャッターが壊れるおそれがあります。

シャッターに物を掛けたり、手を差し入れて押ボタンスイッチを操作しないでください。

シャッターの操作をお子様にさせるのは、絶対にやめてください。シャッターにはさまれ、けがをするおそれがあります。



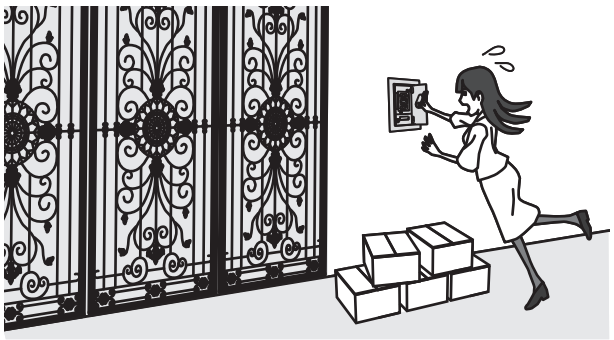
⚠ 警告 人身事故または器物破損の可能性がありますので、次の注意事項を守ってご使用ください。

シャッターが動いているときは、開口部を通過しないでください。

操作終了後は、必ず押ボタンスイッチの鍵をかけてください。

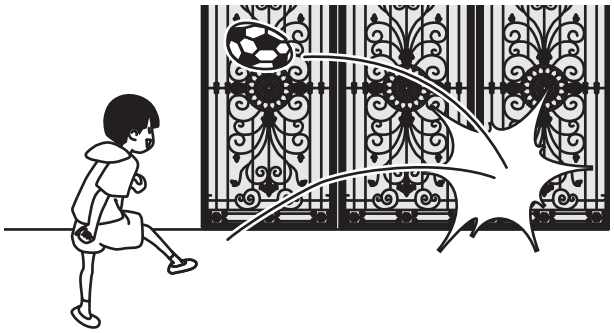
使用上のご注意

スイッチのまわりに物を置かないでください。

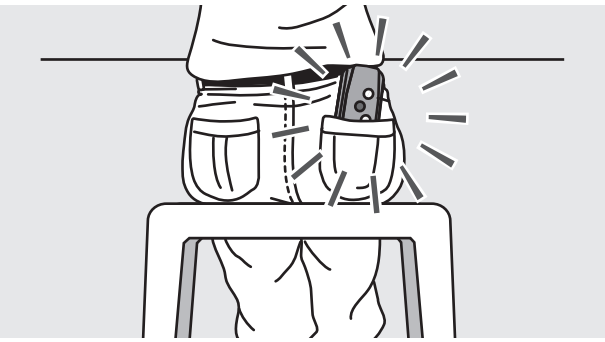


シャッターが動いている間は、押ボタンスイッチから離れないでください。

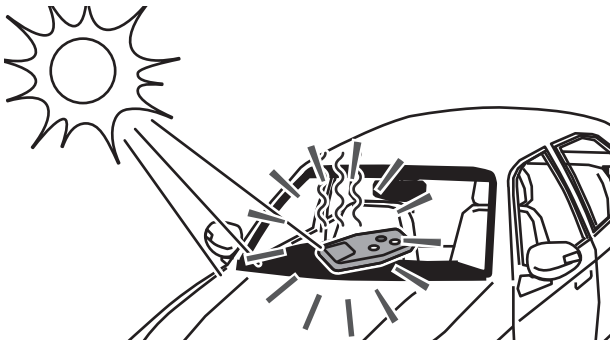
シャッターに物をぶつけないでください。
シャッターが壊れるおそれがあります。



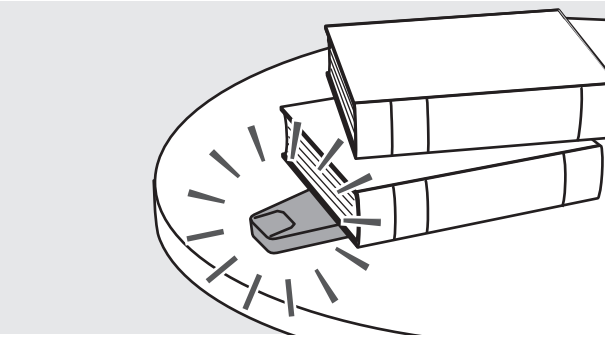
無線送信機をポケット等には入れないでください。
誤ってスイッチが入りシャッターが作動したり、
無線送信機が破損するおそれがあります。



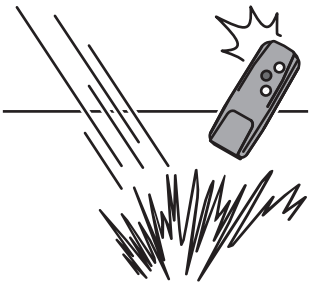
無線送信機は、直射日光などにより高温になる場所（車のダッシュボードの上など）には、放置しないでください。



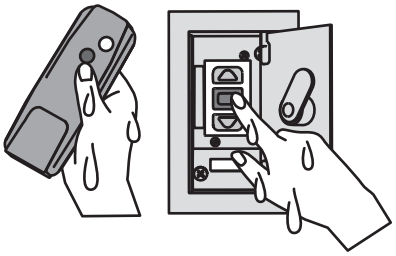
無線送信機の上に物を置かないでください。
ボタンは軽いタッチで作動します。
意図しない状態で電波が発信され危険です。
また、故障の原因にもなります。



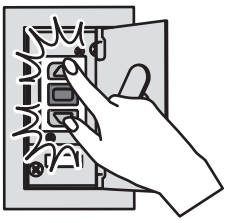
無線送信機を投げたり落としたり、物にぶつけたりするような強い衝撃を与えないでください。また、無線送信機を分解しないでください。



ぬれた手で無線送信機または押ボタンスイッチを操作しないでください。故障の原因になります。

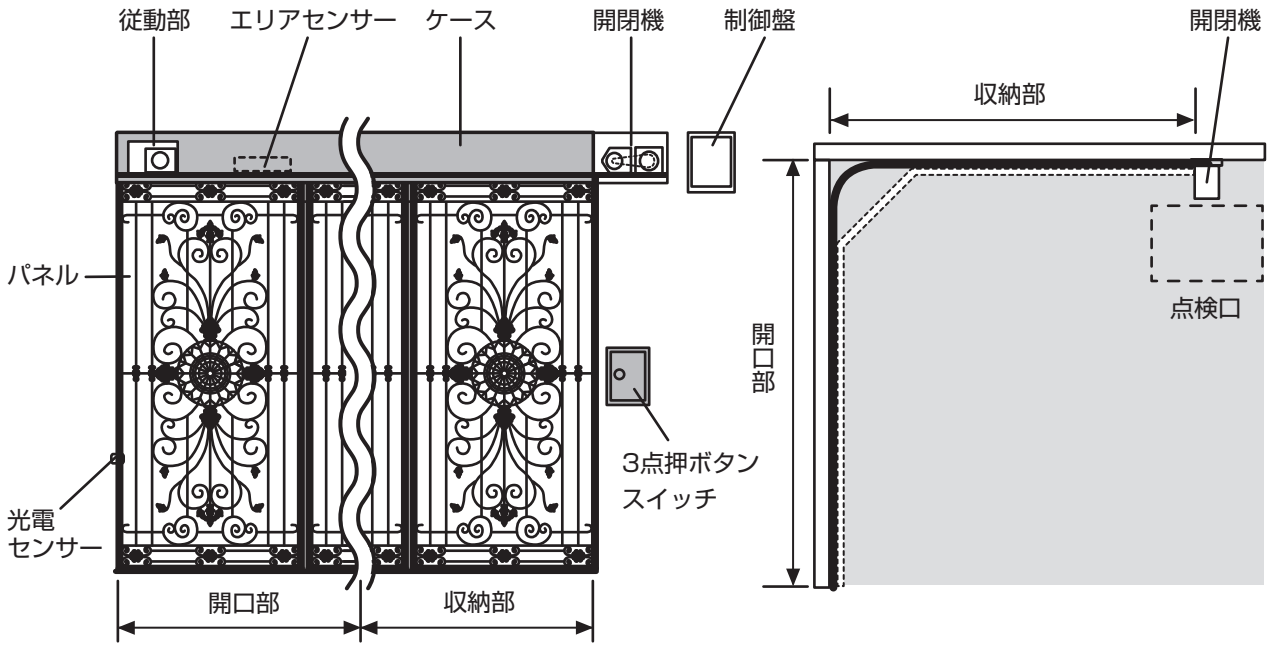


押ボタンスイッチの「▲開」「▼閉」ボタンを同時に押さないでください。
同時に押すと、内部の部品が破損し、シャッターが動かなくことがあります。



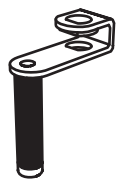
1. 製品の概要

各部の名称

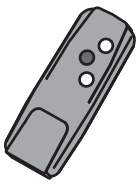


側面図　　上面図

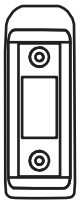
操作部品



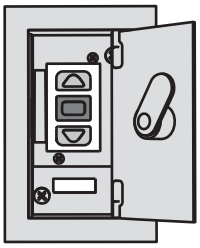
手動操作用ハンドル
（操作方法はP.8参照）



無線送信機
（リモコン）



無線送信機
ホルダー



3点押ボタン
スイッチ

3点押ボタン
スイッチの鍵

2. 操作方法

通常時の操作

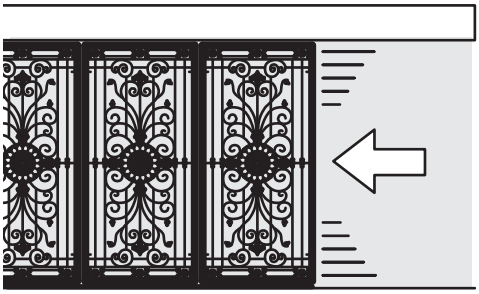
無線送信機　　3 点押ボタンスイッチ

開けるとき

「Open」ボタンを
押してください。

シャッターは、開放設定位置で
自動停止します。

「▲開」ボタンを
押してください。



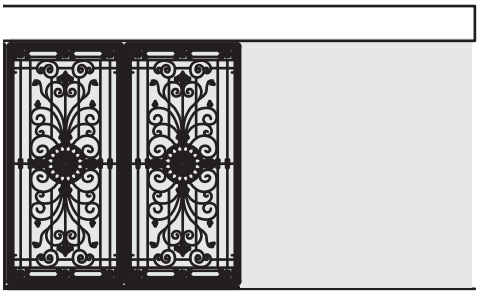
開放

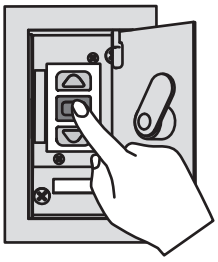
途中停止するとき

「Stop」ボタンを
押してください。

シャッターは停止します。

「止」ボタンを
押してください。





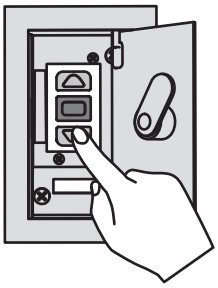
停止

閉めるとき

「Close」ボタンを
押してください。

シャッターは閉鎖し、
自動停止します。

「▼閉」ボタンを
押してください。



閉鎖

2. 操作方法

停電時の操作（手動）

⚠ 警告

停電時の操作は「緊急必要時以外」は行わないでください。
やむをえず操作をする場合は、下記の事項を確認してください。

- 高所作業になるため、不安定な姿勢にならないよう、足場を確保して十分に安全を確認してから作業にかかってください。
- シャッターを閉めるときは、シャッターの開口部に「人がいないこと」を必ず確認してください。
- 操作の前にまず点検口を開けて、シャッターの制御盤（「各部の名称」を参照してください）内のブレーカーを切ってください。ブレーカーが入ったまま作業をすると、途中で停電が復旧した場合、急にシャッターが電動で動き、人がはさまれるおそれがあります。
- 手動操作用ハンドルは使用後に必ず取り外してください。付けたまま電動で操作するとハンドルが高速回転し、外れて人に当たり、けがをするおそれがあります。
- 手動操作用ハンドルはしっかり持って操作してください。

⚠ 注意

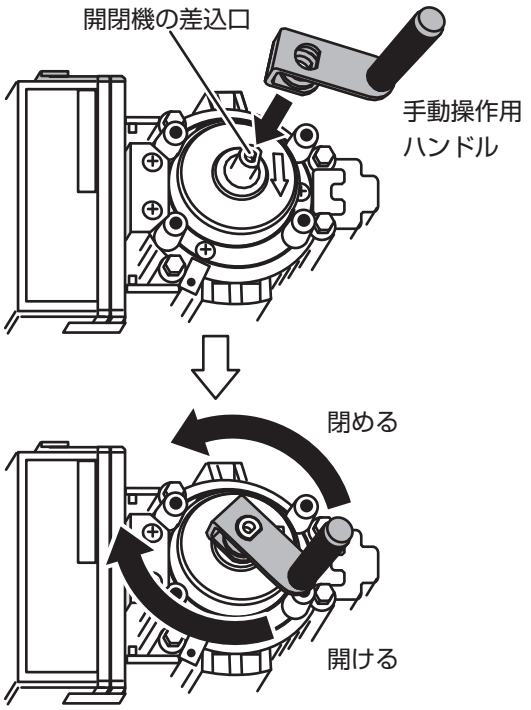
次のような使い方をしますと、シャッターの故障を招く原因になりますのでおやめください。

- シャッターを閉めるときは、シャッターの開口部に「物がないこと」を確認してください。
- シャッターが全閉または全開したときは、手動操作用ハンドルの操作はやめてください。さらに操作を続けると、シャッターを巻き込み過ぎて使用できなくなるおそれがあります。

ブレーカーを切る

- 停電時の操作の前に、まず制御盤内のブレーカーを切ってください。

手動操作用ハンドルを操作する



開けるとき

1. 点検口を開けて、付属の手動操作用ハンドルを開閉機の差込口に差し込んでください。
2. 手動操作用ハンドルを左図のように、時計回りに回してください。
3. シャッターが全開したら、操作を止めてください。
4. 手動操作用ハンドルを差込口から外し、元の位置に戻して、点検口を閉めてください。

閉めるとき

1. 点検口を開けて、付属の手動操作用ハンドルを開閉機の差込口に差し込んでください。
2. 手動操作用ハンドルを左図のように、反時計回りに回してください。
3. シャッターが全閉したら、操作を止めてください。
4. 手動操作用ハンドルを差込口から外し、元の位置に戻して、点検口を閉めてください。

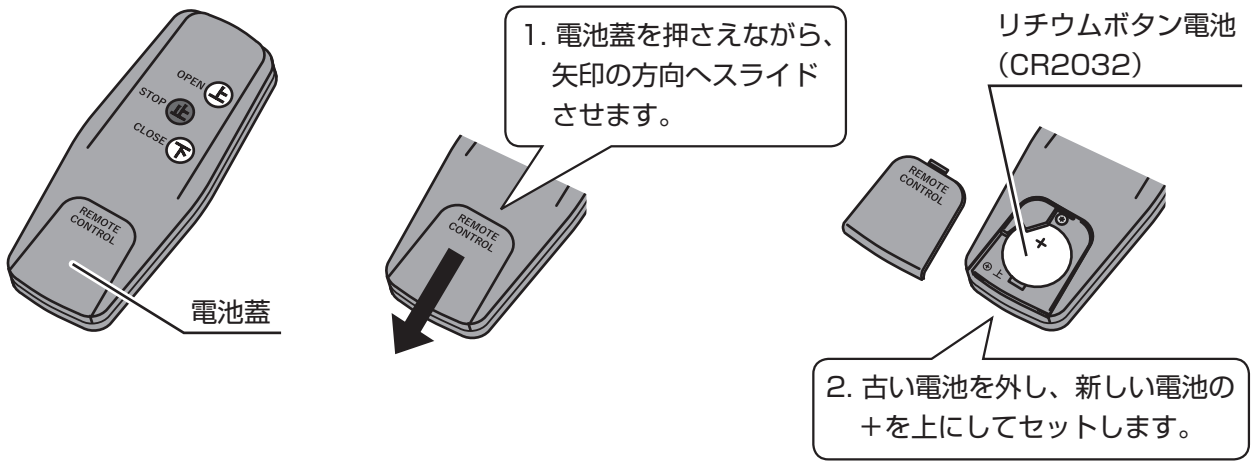
3. 関連機器

無線送信機（リモコン）

無線送信機(リモコン)の電池交換について

- 使用電池はリチウムボタン電池 CR2032×1個です。
- 電池の寿命の目安は1日4回の操作で約3年です。使用頻度により期間は変動します。
- 無線信号の到達距離が短くなった場合や、ボタンを押してもシャッターの開閉ができなくなった場合は、新しい電池と交換してください。

無線送信機 (HT-3X)



無線送信機(リモコン)の追加登録について

無線送信機を追加して使用したい場合は、事前に登録作業が必要です。

追加登録方法

1. 制御盤内のブレーカーを切って、入れなおしてください。
2. 5分以内に追加する無線送信機の「止」ボタンを1秒おきに3回押してください。
   開閉機のブザーが**「ピピッ」**と鳴ります。（仮登録）
3. 制御盤内のブレーカーを切って、入れなおしてください。
   開閉機のブザーが**「ピピピッピピピッ」**と鳴り始めます。
4. ブザーが鳴っている間に、手順2で仮登録した無線送信機の「止」ボタンを1秒おきに3回押してください。
   開閉機のブザーが**「ピピッ」**と鳴ったあと、ブザーが鳴り止めば登録完了です。（本登録）

関連機器

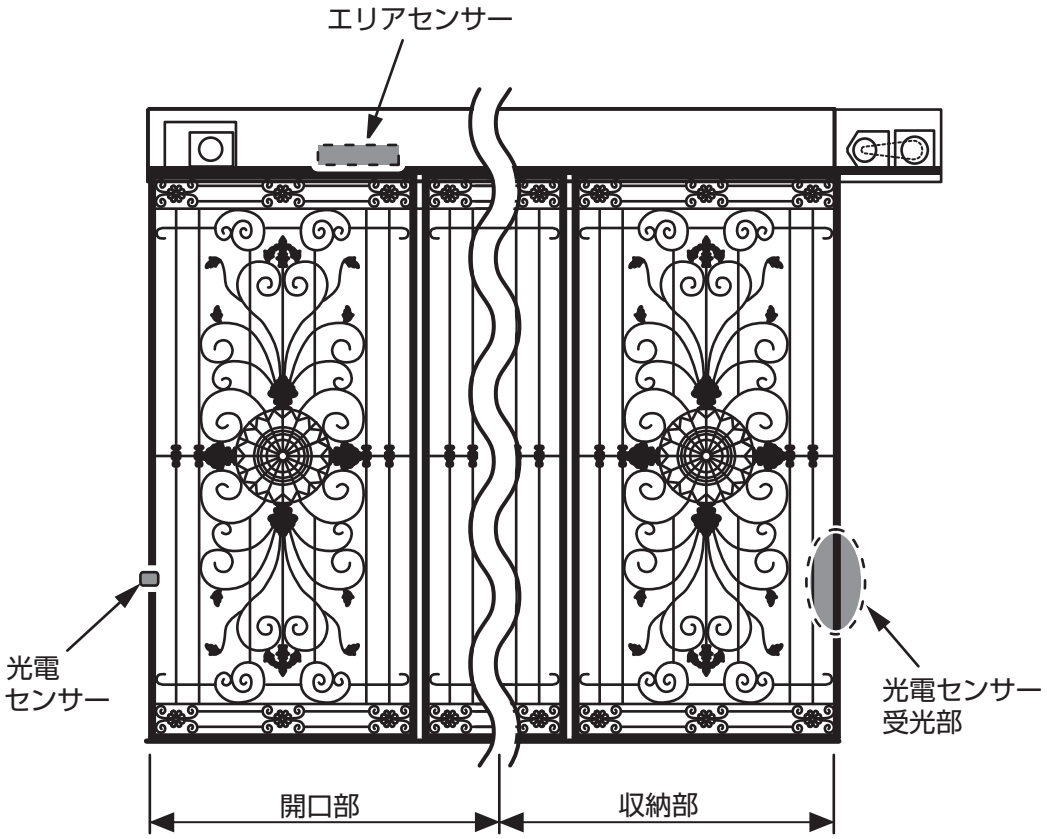
エリアセンサー、光電センサー

⚠警告

- 「センサー」と「センサー受光部」の間に送信の障害となるものは取り付けないでください。
- センサーにごみ等が付着すると、正常に作動しなくなることがあります。

⚠注意

- センサーが作動すると、シャッターは停止します。
  再び操作したい場合は、安全を確認後、無線送信機（リモコン）または3点押ボタンスイッチで操作をしてください。



4. 点検

定期点検

⚠ 警告

定期点検は必ず行ってください。適切な定期点検を行わないと人身事故や重大な事故につながるおそれがあります。東洋シヤッターに定期点検作業をご依頼ください。東洋シヤッター以外の定期点検は、重大事故につながる可能性があります。

一般のシャッターよりさらに高度な特性を持つ本製品を維持するためには、定期点検が必要不可欠です。定期点検を行うことで、機能低下や不慮の事故、故障による不作動を予防し、末長く使用していただけます。必ず定期点検契約を結んでいただき、東洋シヤッターの専門点検技術者による点検と保守を行っていただきますようお願いいたします。

<ご連絡先は P.13 を参照願います。>

日常点検

⚠ 警告

必ず以下の日常点検を行ってください。日常点検を行わないと人身事故や重大な事故になる場合があります。日常点検で不具合を発見したときは、ただちに操作を停止してP.13に記載していますメンテサービスセンターまでご連絡ください。

●シャッターの開口部に「人がいないこと」、周囲に「物がないこと」を確認してから作業にかかってください。

シャッターを動かす前の確認

- 押ボタンスイッチはすぐに操作できる状態になっていますか。
- シャッターのパネルや竪枠に物を立て掛けていませんか。
- 下部レールにごみ等が詰まっていませんか。
- リモコンの電池の寿命が切れていませんか。

シャッターを動かしているときの確認

- シャッターを動かしたとき、異常音や異常振動がありませんか。
- 開閉動作中に停止ボタンを押したとき、すぐに停止しますか。
- 3点押ボタンスイッチで、押ボタンを押し続けないと動かないことはありませんか。
- 全開、全閉の正しい位置で停止しますか。
- パネルに変形はありませんか。
- ケースや天井から油漏れはありませんか。

5. お手入れ方法と異常時の処置

お手入れ（清掃）について

⚠ 警告 お手入れ（清掃）を行うときは、必ず下記の事項に注意してください。

- ●高所作業の場合は、足場など安全を確保してください。
- ●押ボタンスイッチなどの電装品に、水が直接かからないよう注意してください。
- ●清掃中、他の人がシャッターを開閉すると大変危険です。必ず「清掃中」とわかるような表示をしてください。

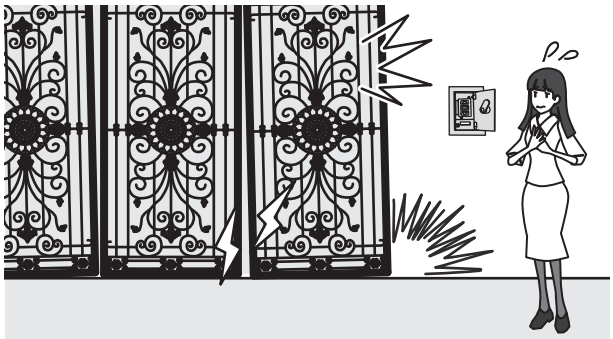
- ● パネルの表面のほこり、塩分等はさび発生の原因になりますので定期的に清掃してください。
- ● ステンレス部分も周囲の環境によりさびが発生する場合があります。
  定期的にステンレスクリーナーで清掃してください。
- ● 落ちにくい汚れは、中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかい布かスポンジで洗ってください。
  洗剤を使用した後は、真水に浸した布で洗剤を除去してください。
- ● ほこりがたまりやすい下部レールは、必要に応じてハケなどでほこりを除いてから中性洗剤で洗い、さらに真水に浸した布で洗剤を除去してください。
- ● 洗った後は、乾いた布で水分を拭き取ってください。

※ 酸性アルカリ性の洗剤を使用しないでください。
※ 金属たわしやワイヤブラシ、金ベラを使用しないでください。
※ ご使用の洗剤に書かれている注意書きをよく読んで正しくお使いください。
※ シャッターの機構上、正常な使用方法でも開閉回数を重ねるとパネルの付属部品やガイドレールなどの接触部では摩耗、傷、音が発生する場合があります。
※ ベンジン、シンナー、トルエンなどの有機溶剤入り洗浄剤などは使用しないでください。

異常時の処置

正常に作動しない場合や、異常を発見した場合は、P.13 に記載のメンテサービスセンターまでご連絡ください。

- ● 動かしたときに、異常音や異常振動がある。
- ● パネルやガイドレールが破損、変形している。



製品保証について

重要 | この製品の保証に関する説明です。
保証期間・保証内容などを確認してください。

対　　象：アーキテリアシャッター 水平格納タイプ

保証期間：製品引渡し後　1年間 または 1,400回

保証内容：取扱説明書の「ご使用上の注意」に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合は無償修理いたします。ただし、最寄りの弊社営業所より100 km以上離れた地域および離島の場合は、交通に要する実費をいただきます。また、保証期間中でも、次の場合は有償となります。

1. 使用上の操作誤りによる故障および製品の損傷。
2. 不当な修理や改造による故障および製品の損傷。
3. 構成材であっても弊社供給責任範囲外のものの故障および製品の損傷。
4. 環境および使用状態が悪い場所での故障および製品の損傷。たとえば、海岸地帯での塩害による製品の損傷、車の排気ガスの反応物質が付着して起こる腐食、異常な高温・低温・多湿による故障および製品の損傷。
5. 火災・地震・風水害・落雷などの天災地変による故障および製品の損傷。自然損耗による故障および製品の損傷。

■メンテサービスセンター一覧表

東　京メンテサービスセンター	TEL 03-6738-3650	FAX 03-3639-0554
横　浜メンテサービスセンター	TEL 045-290-7550	FAX 045-314-3562
名古屋メンテサービスセンター	TEL 052-352-8071	FAX 052-352-8070
京　都メンテサービスセンター	TEL 075-671-3367	FAX 075-671-1080
京　阪メンテサービスセンター	TEL 072-825-8555	FAX 072-822-3937
大　阪メンテサービスセンター	TEL 06-6390-6400	FAX 06-6390-6410
南大阪メンテサービスセンター	TEL 072-276-7650	FAX 072-277-5852
神　戸メンテサービスセンター	TEL 078-435-6371	FAX 078-435-6373
福　岡メンテサービスセンター	TEL 092-611-7110	FAX 092-611-7114

緊急修理等のご用命は ARM（オール・ラウンド・メンテナンス）

フリーダイヤル　シキュウ　トウヨウ
0120-49-1080　《365日 24時間受付》

■品質の向上を目的に設計仕様内容を変更する場合がございます。

製造元　東洋シヤッター株式会社

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお願いいたします。

電話番号 03（3864）1122
受付時間　月～金　9:00～17:30（年末・年始・夏季休暇等は除く）
FAX 03（3863）6875
E-mail：support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10　〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー
ISO 9001（JSAQ384）・ISO 14001（JSAE597）審査登録
※ISO9001：物流 WEST を除く、国内拠点　※ISO14001：千葉工場および物流センター（SBC）
https://www.sugatsune.co.jp/
2019.06　1338-1